

アルミニウム製庇 (RSバイザー RS-F (FT) 型) 施工要領

このたびは、ダイケンアルミニウム製庇RSバイザーをご採用いただき、ありがとうございます。

アルミニウム製庇RSバイザーは、遮光性、遮熱性、防雨性、意匠性の目的で使用されるものです。

確実な施工を行い、製品の安全を確保するため、施工前にこの「施工要領」を必ずお読みください。

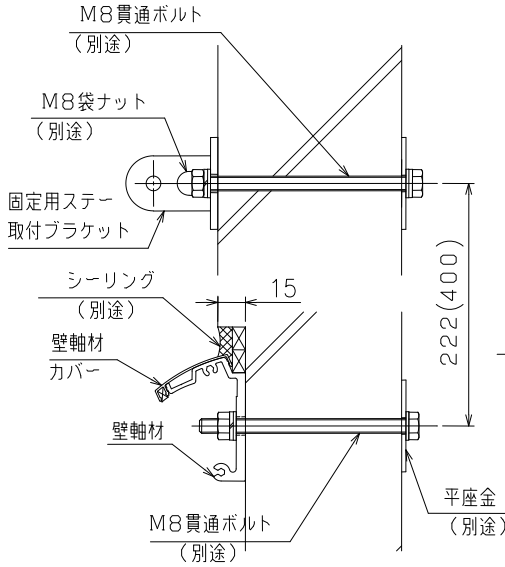
⚠ 注 意

転落の恐れがありますので、庇に乗ったりぶらさがったりしないでください。
庇が破損する恐れがありますので、積雪80cmを超える前に必ず雪降ろしを行ってください

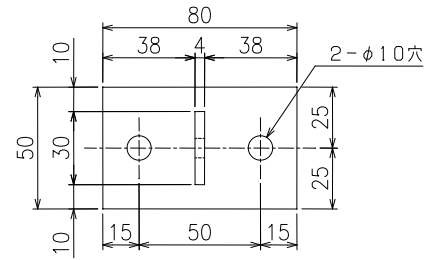
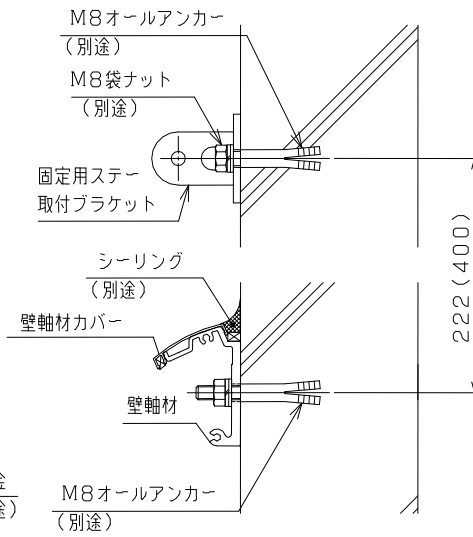


壁側納まり図（断面）

A L C下地に取り付ける場合

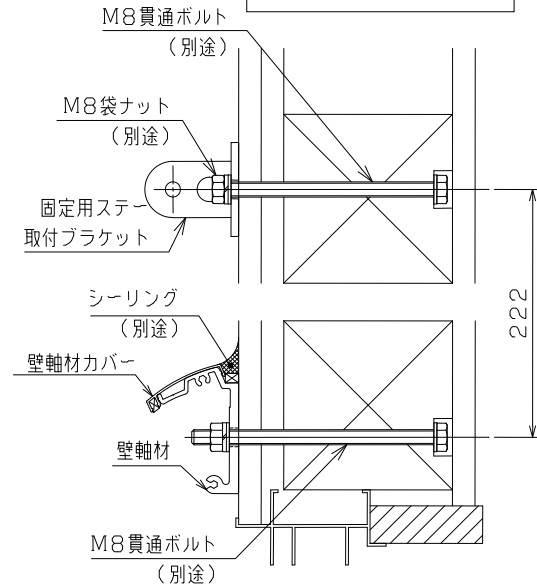
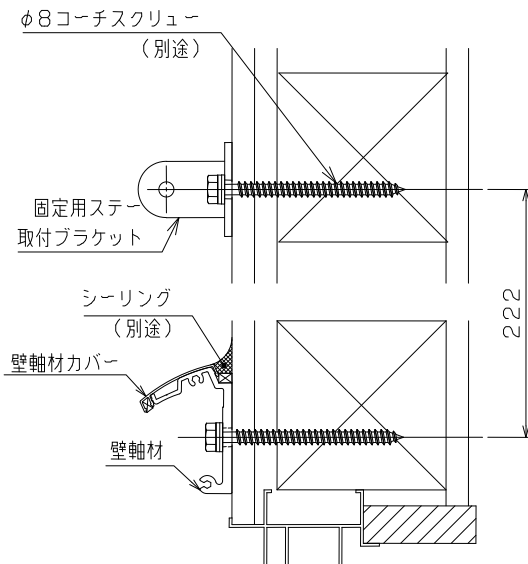


コンクリート下地に取り付ける場合



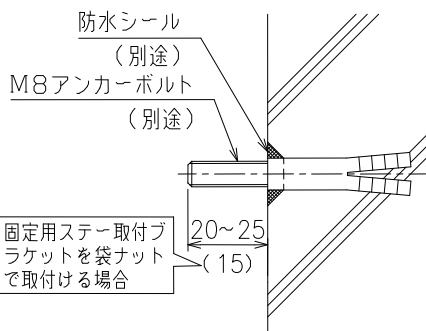
固定用ステー取付
ブラケット詳細図

木造下地に取り付ける場合



※カッコ内寸法は
出幅D>1000 時
の寸法です

アンカー取付要領



アンカーボルトは、下地から 20~25mm 飛び出すようにしてください。
但し、固定用ステー取付ブラケットを袋ナットで取付ける場合は、下地から 15mm 飛び出すようにしてください。内部への浸水を防ぐためにアンカーボルトの周りに防水シールを施してください。貫通ボルトを使用する際も同様に防水シールを施し、雨水が内部に浸入しないようにしてください。

⚠ 注意

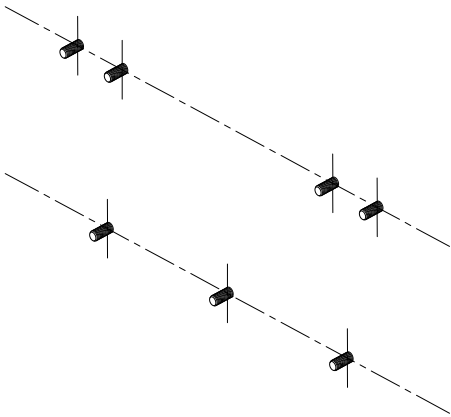
アンカーボルトは有効長さが、仕上モルタルやタイル等の仕上材の厚さを含めず、躯体部分に確実に入るようにしてください。

アンカー取付位置

アンカーボルトの取付位置は、別紙図面にてご確認ください。

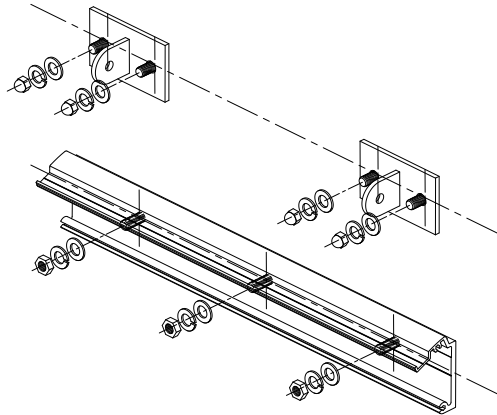
施工手順

1



アンカー図に基づき墨出しを行い、アンカー（M8・別途）を取付けます。（アンカーは壁によって異なります。）

2

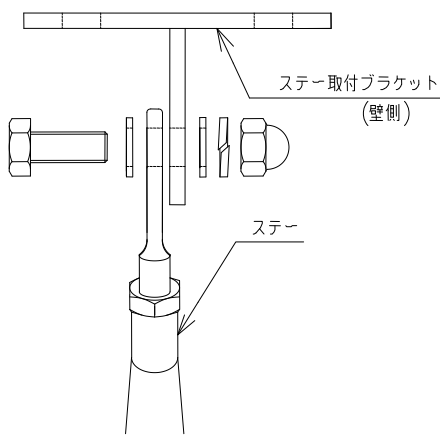


壁軸材・ステー取付ブラケット(ステー付のみ)を取付けます。取付面の平面度が出ていない場合は、壁軸材の裏側にスペーサー(別途)等を入れて調整してください。通りが出てないと庇本体が、取付られない場合があります。壁軸のレベル出しは、確実に行って下さい。

注意

壁軸材及び固定用ステー取付ブラケットは、確実に取付けてください。落下すると事故の原因になります。

3

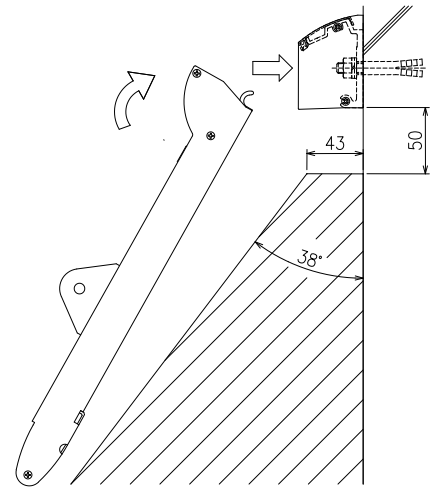


ステー付の場合、あらかじめ庇本体の角度を決めておき、上図のように取付けます。この時、インパクトで根元まで締付けると焼付きの恐れがありますので注意して下さい。

注意

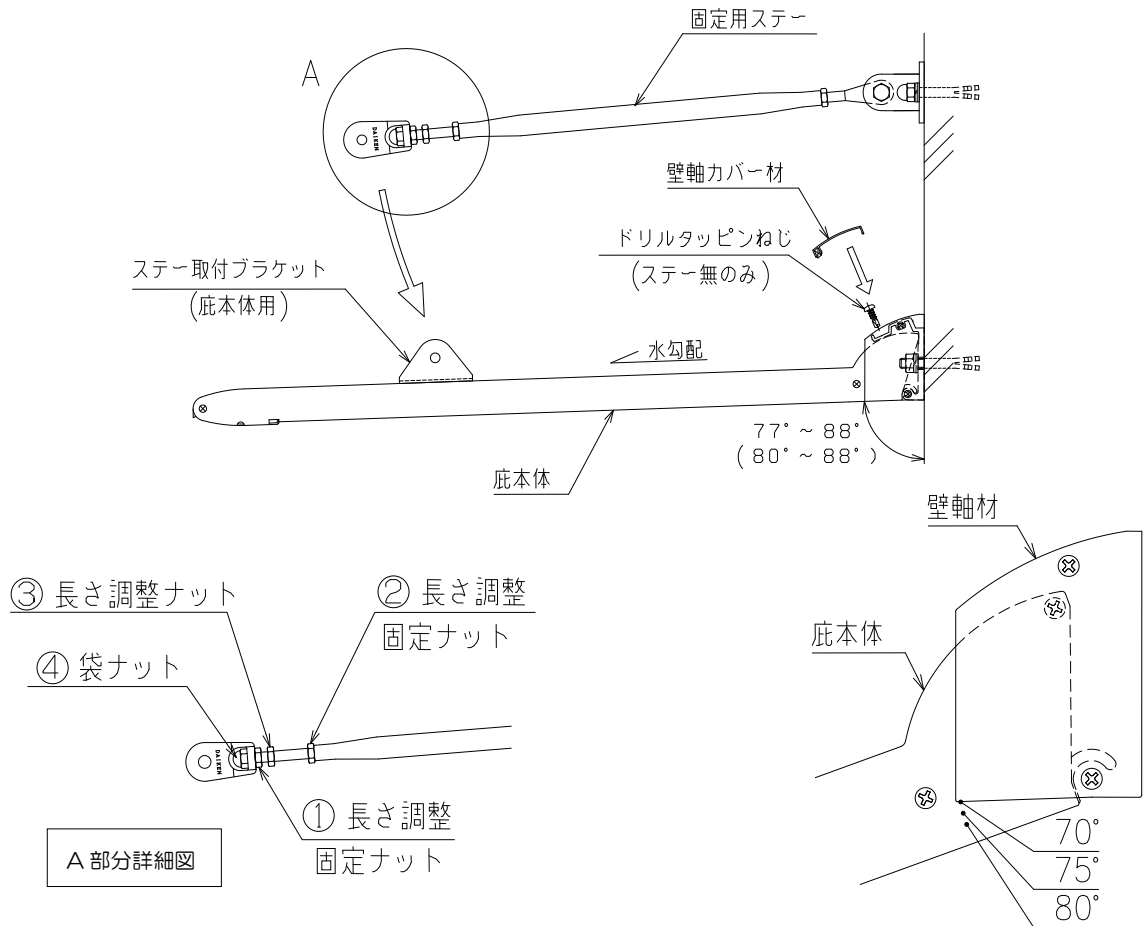
ステー付き庇の角度は、固定用ステーの長さで決まります。ステー取付の際は、取付金具の調整範囲内で角度にあった長さに調整し、付属の六角ボルトで確実に固定してください。落下すると事故の原因になります。ステーの長さは別紙を参照してください。

4



図のように、庇本体を壁軸材に取付け、回転させます。その際、斜線部に物があると庇と干渉するため、庇を先に取付けてください。

5

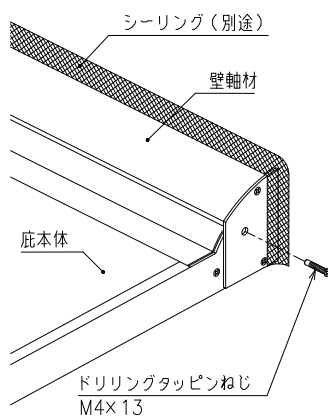


ステー無の場合は、付属のドリルタッピンねじで庇本体を任意の角度（70° ~ 88°）で固定し、カバー材を取付けます。（尚、庇本体を連続して取付ける際、庇本体間の目地にねじ穴がくる場合はねじ止め無し又は固定できる所で取付けてください） ステー付の場合は、ステー取付ブラケットと固定用ステーを付属のボルト・ナットで取付けます。ステー長さ微調整は、長さ調整固定ナット①、②を弛め 長さ調整ナット③を回し微調整できます。**調整後は、ステーの袋ナット④にボルトが確実に入っていることを確認し、長さ調整固定ナット①、②を確実に締付けて下さい。このとき、長さ調整固定ナットがゆるむ原因となりますので、長さ調整固定ナット③が供回りしない様に注意して下さい。**

※ 庇本体の角度は、庇本体が壁軸材に当たったところ（上図左）が88°です。88°以外の角度にする場合は、庇本体小口蓋のマークを目印に合せて取付けてください（上図右）。

（ただし出幅Dが1000mmを超える場合の任意の角度は80° ~ 88°となります）

6



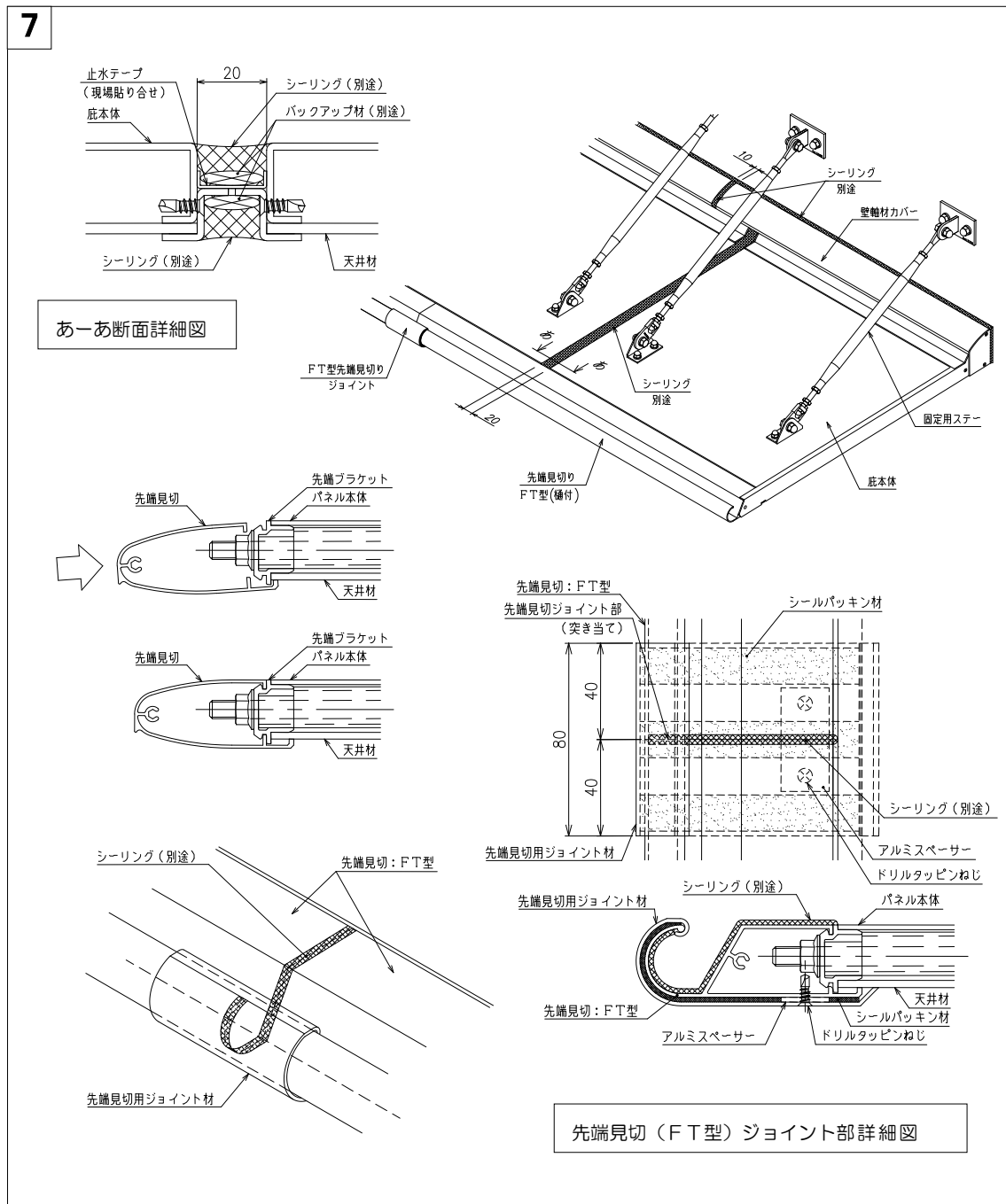
ステー無の場合は、壁軸材小口蓋に付属のドリリングタッピンねじを打込んでください。庇本体取付後、壁軸材上部・端部に防水シールを施します。

⚠ 注意

固定用ステー及びドリリングタッピンねじは、確実に取付けてください。落下すると事故の原因になります。

ボルト・ナットは確実に締付けて下さい。固定用ステーの長さを変える場合は、表1のA・B調整寸法内にして下さい。伸ばし過ぎボルト・ナットの緩みは落下事故の原因になります。

六角ボルトは、根元まで確実に締めてください。落下すると事故の原因になります。



底本体、先端見切り、壁軸材（カバー材）が2枚割り以上になる場合は、基本的には上図のような納まり（参考）になります。

先端見切りは底本体を取付けた後、上図のように先端側を少し下げ、傾けた状態で先端ブラケットにパチンと音がするまで押込んでください。（F型、FT型共通）

（尚、底本体間のジョイント部は20mmの隙間目地を設け、付属の止水テープを貼り付けてからシーリング処理を施してください）

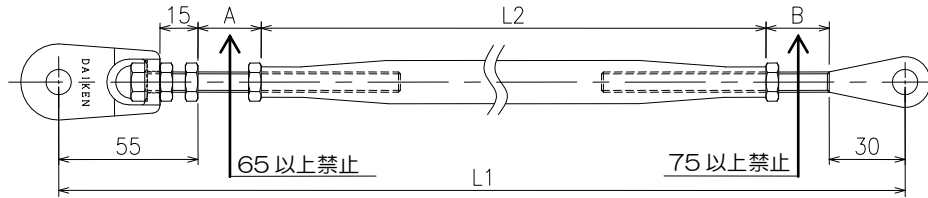
FT型先端見切用ジョイント材は、先端見切りのR先端部に引っ掛けて回転させ、上図の様な納まりになるよう押えながら付属のドリルタッピンねじで固定します。その後、上図のように先端見切りの突き当て部の上部にシーリング処理を施します。（注意：取付け不備だと水漏れの原因になります）

注意:パッキン材には、クロロプレンゴムを使用しています。シーリング時にシール材により化学反応を起こしシール材が変色する場合がありますのでご注意ください。変色の対処としては、シーリング時にパッキン材のクロロプレンゴムをマスキングしてシーリング材と接触させないようにして下さい。

固定用ステー取付金具長さ調整範囲

D	角度	L1	L2	A	B
600~750	88° ~70°	426~492	290	25~55	26~62
751~1000	88° ~70°	609~680	475	24~54	25~66
1001~1250	88° ~80°	908~961	755	34~56	34~65
1251~1500	88° ~80°	1112~1167	955	36~59	36~68

表 1



ステー長さL1は、庇の出幅Dと角度により決まります。微調整は、表1を参考にA・B寸法内にて調整して下さい。調整後は、長さ調整固定ナットを確実に締めて下さい。締め忘れると落下事故の原因になります。

●改良のため予告なく商品の仕様を一部変更する場合があります。



株式会社 **ダイケン**

ホームページアドレス <http://www.daiken.ne.jp>
 本社 〒532-0033 大阪市淀川区新高2丁目7番13号
 電話(06)6392-5321(代表)

札幌支店	(011)232-3017(代)	千葉営業所	(03)3633-6552(代)
東京支店	(03)3633-6551(代)	神奈川営業所	(045)316-3901(代)
名古屋支店	(0586)77-7561(代)	静岡営業所	(054)237-5375(代)
大阪支店	(06)6392-5556(代)	岡山営業所	(086)297-9100(代)
盛岡営業所	(019)648-2220(代)	広島営業所	(082)294-9181(代)
仙台営業所	(022)235-4380(代)	福岡営業所	(092)935-9731(代)
埼玉営業所	(048)667-9381(代)	東京西出張所	(042)567-1338(代)